

単元名 詩の楽しみ方を見つけよう
配当時間 2時間

- 単元の目標** (1) 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。
 (2) 詩を読んで感じたことを共有することができる。
 (3) 詩を読んで感じたことを共有し、詩を紹介しようとする。

標準的な展開例

02010301_001

【教材名】 ねこのこ／おとのはなびら／はんたいことば

(下 P. 78～P. 79)

【準備等】 カードの用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 詩を工夫して音読する。 ★詩を楽しんで読もう。 ○「ねこのこ」を音読する。 ○「おとのはなびら」を音読する。 ○「はんたいことば」を音読する。 ○三つの詩から一つ選んで、視写する。 2 詩の贈り物をする。 ★友達に詩の贈り物をしよう。 ○図書館で友達に紹介したい詩を見付ける。 ○自分の選んだ詩をカードに書いて、友達にプレゼントする。 ○カードの交換をして、読み合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ゆうゆう」や「ごろごろ」などの読み方を工夫させて読ませる。 ・リズムを感じさせながら読ませる。 ・声の強弱や読む速さを工夫して読ませる。 ・読んだ後に、他の言葉を入れて読ませてもよい。 【評】 詩を音読する活動を通して、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて読む「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・三つの詩を何度か音読させ、自分の好きな詩を選ばせる。 ・詩を音読して思い浮かんだ情景や気持ちを絵に描かせてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に詩集などを用意して、その中から選んでもよい。 ・教科書(P. 79)「この本、読もう」も参考にする。 ・カードの表には選んだ詩を書き、裏には理由を書かせる。 ・表には絵を描かせてもよい。 【評】 詩の贈り物作りの活動を通して、自分の好きな詩を友達に紹介しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ペアなどで交換をさせ、全員にカードが渡るようにし、お互いのカードを読み合わせる。 【評】 詩の交換活動を通して、詩を読んで感じたことを共有する「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】